

事業概況

ソリューション システム事業

DXソリューションの社会実装を加速し、
安定収益の確保と持続的成長を実現します。

取締役専務執行役員
ソリューションシステム
事業本部長

坪井 正志



事業方針 お客様のDX支援とソリューションの水平展開による持続的成長

中期経営計画2022

目標: 2022年度 売上高2,350億円、営業利益190億円

- ▶DXソリューションの社会実装の加速、パートナーとの共創による社会課題解決
- ▶DX領域売上2倍以上(2019年度比)

強み

- エッジ領域における端末技術
- 5Gをはじめとするネットワーク技術
- 豊富なインストールベース／ユースケース

機会・リスク

- DXのさらなる加速
- 技術革新(5G、AI)によるソリューションの拡大
- 情報量増大による分散処理(エッジコンピューティング)の重要性増加

2020年度の業績

売上高は、前期比366億円、16.0%減少の1,925億円、営業利益は同39億円減少の163億円となりました。大型案件や売上基準の一部見直しなど前期の一過性要因による反動減がありました。これらに加えて、新型コロナウイルス感染症による影響もあったものの、ネットワーク関連が通年で牽引したこともあり、概ね想定通りの結果となりました。

中期経営計画2022の進捗と今後の取り組み

ソリューションシステム事業は、AIエッジによるお客様のDX支援を通じた持続的成長の実現に向け、中期経営計画2022に基づき、積極的な成長投資を行うとともに、DX領域の売上を2倍以上に拡大することを目指しています。

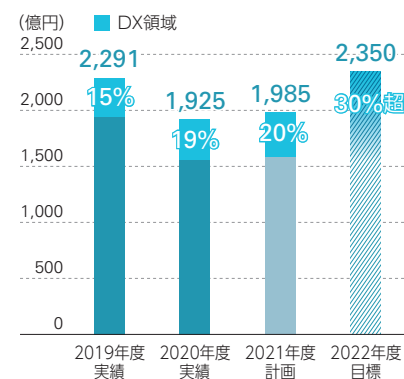
ビジネスモデルの多様化、モノからコトへの消費の変化、老朽化・人手不足への対応などを背景に、企業におけるデジタル化の取り組みは年々活発化しており、業務プロセスのデジタル化投資に積極的な企業が増えています。そして新型コロナウイルスの感染症拡大を機に、その流れはさらに加速しています。

このような中、OKIはエッジ領域における端末技術、ネット

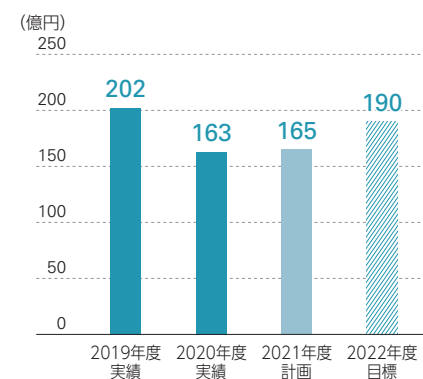
ワークの技術、豊富なユースケースを強みとしてDXを推進するとともに、パートナーとDXエコシステムを構築し、新たなソリューションの創出に取り組んでいます。交通・建設／インフラ、防災、金融・流通、製造、海洋などの注力分野を中心に、2021年8月現在、共同で新規ソリューションを創出する共創パートナーは85社、技術的なアライアンスをするAIエッジパートナーは95社に拡大しており、オープンイノベーションパートナーも含めて、共創によるDXを推進しています。こうした取り組みについては、開発フェーズから成果を出すフェーズへ移行しつつあります。

今中期経営計画の3年間では、M&A含め365億円の投資を計画しています。AIエッジプロダクトやローカル5G関連の技術開発のほか、消防指令・防災システムなど今後の需要を見据えた新しい技術の開発を強化しています。このほか、埼玉県にあるOKI本庄工場に新棟を建設することを決定し、建設費用には約60億円を投じ、2022年5月に本格稼働を予定しています。地域社会と共存し、災害に強く、環境負荷低減に配慮したスマート工場の実現により、より環境に配慮した事業活動を推進します。

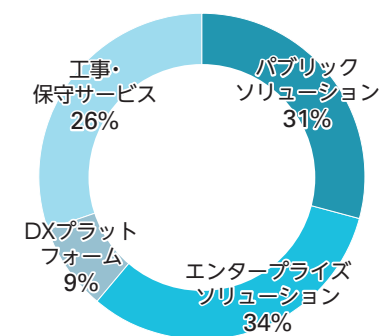
売上高



営業利益



2020年度売上高構成

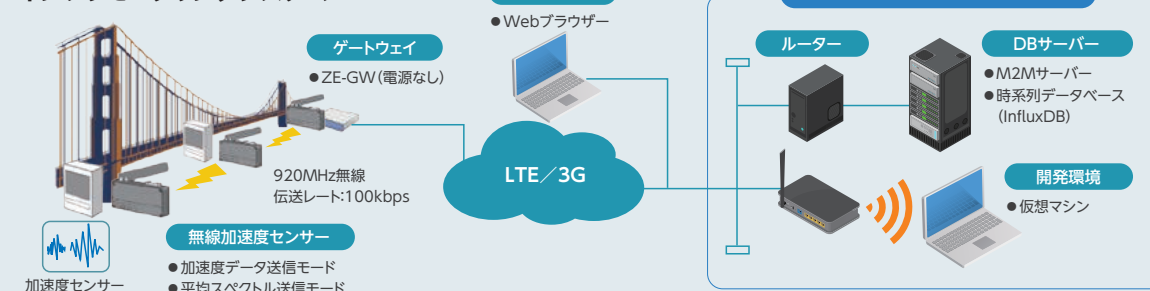


各事業領域におけるDXの具体例

パブリックソリューション

老朽化が進む橋梁やトンネルなどのインフラ構造物の状態をデータ化するプラットフォームにより、維持管理の分析を容易にしています。また、施工性を高めたエッジ・センサーにより、導入のしやすさを提供しています。

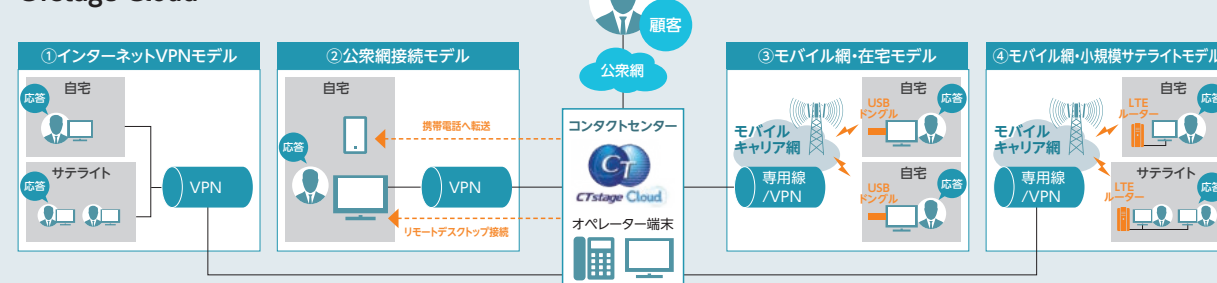
インフラモニタリングシステム



DXプラットフォーム

CTstageをクラウドサービスとしてご提供することにより、コロナ禍で加速するコンタクトセンターのデジタルシフトに対応、短いリードタイムで場所やコミュニケーション手段などの自由度の高いコンタクトセンターを実現します。

CTstage Cloud®



エンタープライズソリューション

金融市場

顧客セルフ操作を実現するネットワーク型入金機「SmartCashStation」により窓口業務における現金取扱負担を軽減します。また業務アプリケーションと連携するAPIによりサービスをタイムリーに提供することも可能です。

製造市場

職人の匠の技をAIとローカル5Gにより膨大な情報を分析しデータ化。自社工場での実証から外観検査などのソリューションを提供し現場の高品質なモノづくりを支援します。



事業概況

コンポーネント&プラットフォーム事業

社会の大丈夫をつくる黒子役として、モノづくりで社会に貢献し成長を実現します。

取締役常務執行役員
コンポーネント&
プラットフォーム
事業本部長

齋藤 政利



事業方針 モノづくりを通じた社会課題解決による持続的成長

中期経営計画2022

目標: 2022年度 売上高2,250億円、営業利益85億円

- ▶ パートナー戦略の推進とモノづくり総合サービスの強化
- ▶ 注力領域の売上1.5倍(2019年度比)

強み

- ハード、メカ・エレキの擦り合わせ技術
- 物販フットプリント
- 高難易度／変種変量変流に対応した生産

機会・リスク

- ペーパーレス、キャッシュレスの進展
- 自動化・省人化ニーズの高まり
- 顧客の課題(固定費削減、コアプロセスに経営資源を集中、高精度・高品質の実現)

2020年度の業績

売上高は、前期比198億円、9.1%減少の1,965億円となりました。プリンターを中心として、海外市場において新型コロナウイルス感染症による影響が色濃く出ました。また、コロナ禍の長期化により、自動機事業の成長市場であるアジア各国の市場は予想以上に停滞しており、加えて国内のEMSの一部にも影響が波及しました。

情報機器事業の構造改革については、計画どおり進捗し、その効果の寄与はあるものの、海外の減収影響が大きく、営業損失は同53億円悪化の1億円となりました。

中期経営計画2022の進捗と今後の取り組み

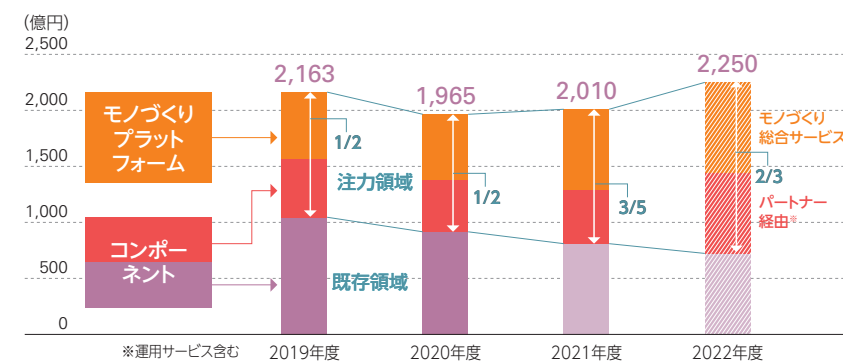
コンポーネント&プラットフォーム事業は、モノづくりを通じた社会課題解決による持続的な成長の実現に向け、中期経営計画2022に基づき、成長の土台となるビジネスモデルへのシフトを進めています。注力領域として、コンポーネント事業ではパートナー企業向けの商品・モジュール・サービス提供、そしてプラットフォーム事業ではモノづくり総合サービス全体について、これらの売上比率を2019年度の2分の1から2022年度には3分の2へ拡大することを目指しています。成長のキーワードは、社会の大丈夫をつくる黒子役となるこ

とです。社会や社会インフラを提供するお客様が直面している課題の解決に向け、OKIはモノづくりで社会やお客様を支え、成長を実現していきます。

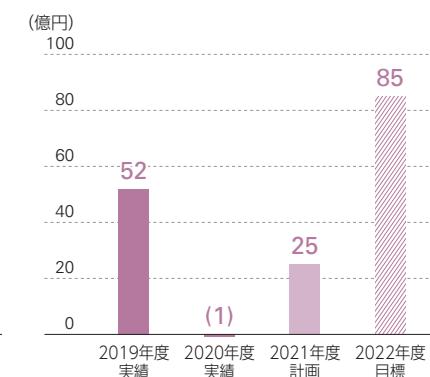
この成長への実現に向け、海外販売戦略の見直しに伴う拠点の統廃合、人員削減、生産拠点再編などの構造改革は計画どおり順調に進捗しています。旧3事業統合によって構築した開発700名体制とグローバル生産拠点を注力分野に集中投下、その大半はリテール／DMS(Design&Manufacturing Services)などの新規分野の開発にあたっています。また、顧客企業からOKIを信頼できるパートナーとして認識していただくため、2020年度に新設したビジネスコラボレーション部隊の精緻化、リソース増強も進めています。2021年度についても、引き続き、人員の最適化、新商品開発に向けたリソースの最適配分などを進めていきます。

これらの一方で、長引く新型コロナウイルス感染症の影響などにより、2020年度については注力領域の売上伸長が図れず、結果として、ビジネスモデルシフトは1年遅れとなりました。モノづくり総合サービスでは主要顧客の需要回復が遅れ、パートナー経由のビジネスでは流通／小売り向けの受注が想定を下回りました。

売上高



営業利益



インストールベースを活かした運用サービスの水平展開による成長



コンポーネント

労働力不足、働き方改革、非対面・非接触といった課題はさまざまな分野で共通しており、OKIの得意分野であるミシヨングリテリカル、軽量メカトロの活躍の場は広がっています。こうした中、OKIはこれまで金融市場を軸に自動化・省人化技術を提供してきましたが、流通・小売り、そして医療など、これまで注力してこなかった業種における課題の解決への取り組みを始めています。現在、複数の開発プロジェクトが進行しており、2021年度後半から順次新商品のローンチを予定しています。

また同様に、金融市場を中心にOKIが社会インフラとして提供している各種メカトロ製品のインストールベースを活用し、保守・メンテナンス、監視までの運用にかかるサービスを、運輸・交通市場そして流通・小売市場での運用サービスへ幅広く拡大することを目指しています。

モノづくりプラットフォーム

DMSの強化により、提供するサービスの幅を拡充し、売上拡大を図っています。設計の段階から共創を進めることで、お客様の効率的なモノづくりを実現します。さまざまな業種に対する積極的なアプローチ、そしてお客様の高いニーズにより、引き合い件数は旺盛であり、商談件数も順調に伸びています。さらなる商談機会の増加、そしてそれらを受注へつなげるプロモーション活動の強化を通して、お客様から信頼してOKIのモノづくりを選択していただけるよう取り組んでいます。